

平成 27 年度 河川財団 研究発表会（近畿事務所）の報告

近畿事務所（大阪）では、平成 27 年 12 月 1 日（火）に、平成 27 年度河川財団研究発表会（近畿事務所）を開催しました。

発表は、河川整備基金助成事業成果 6 題、近畿事務所の研究成果 2 題と特別講演 1 題でした。

河川整備基金助成事業成果 91 題の中から、時代を反映し、近畿に関係する研究の中から『外来種チュウゴクオオサンショウウオおよび日本産との交雑個体の生息状況の調査』、『堤防の安全技術の研究基盤整備』、『健全な湖沼生態系創成のための琵琶湖難分解有機物の生態影響評価』、『植生が進む砂州河道の地形と植生の管理手法に関する水理研究』、『京阪神における局地的大雨予測への詳細な都市環境情報導入とその影響評価』、『機動的な洪水流の可視化計測システムの開発』計 6 題の研究成果を発表していただきました。

特別講演は、京都大学大学院 工学研究科 神吉 紀世子 教授をお招きし、『住民参画と安全リスク 一歴史的地域に学ぶ一』のご講演をいただきました。

国、地方自治体、企業、研究機関などから多数の方が参加され、どの発表や講演にも活発な質問やコメントがあり、盛大のうちに閉会しました。

発表者や講師の方々、ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



特別講演 神吉先生



研究発表の状況



意見交換



会場からの質問

（担当：近畿事務所）